

## 坂田小がNHK合唱コンクール 県大会で金賞！

「第76回NHK全国学校音楽コンクール県大会（7月31日・うま市）で、坂田小学校の音楽部が金賞を受賞しました。部員の比嘉あるさん（6年）は「たくさん練習したので嬉しい」と喜びの表情で話し、報告を受けた上岡町長は「チームワークの良さと、日頃の練習の成果が出たのだと思う」と称えました。同部はこの大会で5年連続金賞を獲得しており、他に「第49回九州合唱コンクール県予選」でも金賞を受賞しています。



## 三世代でうちなーの野菜を料理

8月14日、町生活研究会（内藤貞代会長）は、島野菜を使う料理を子や孫へ伝えていこうと「島野菜料理三世代交流会」を町中央公民館で行いました。内藤会長は「自分達の畑でとれた島野菜をいかに使うかがテーマ。子どもに島野菜をそのまま出すとあまり食べないが、細かく刻んだりするとよく食べる」と話し、メニューもゴーヤーハンバーグ、モロヘイヤ丼、ハンダマの三色炒めなど島野菜を使った料理で、地産地消を実践。参加した子ども達からは「モロヘイヤ丼おいしい！」という声があがっていました。



## 西原なぎなたクラブが 全国大会で活躍！

「平成21年度全日本少年少女武道なぎなた練成大会」（8月9日・日本武道館）で、西原なぎなたクラブの米城映里花・瀬長桃子組が、演技競技の小学5・6年生の部で優良賞（2位）、試合競技の小学4年生の部で瀬長桃子さんが敢闘賞（3位）を獲得しました。瀬長さんは「来年も出られるようもっと練習したい」と話し、米城さんも「2位になって良かった。次の目標は優勝」と抱負を述べました。報告を受けた上岡町長は「すばらしい技能をもっている。来年も楽しみ」と話していました。



# まちの話題

## 学習への取り組みの徹底を

学力向上先進校を視察することにより、町の教育施策及び各学校の学力向上に活かそうと、地域ぐるみ学力向上対策協議会（会長・垣花教育長）の9名が、6月に鹿児島県と福岡県の先進校等を視察し、その報告会を8月5日、町中央公民館で行い、約150名が参加しました。先進校では、授業を始める前の黙想といった学習態度や心得を徹底しており、家では家庭学習の習慣化、ノーテレビデーの設定や地域ボランティアによる土曜学び合い学級など、学校と家庭、地域が一体となって、学力向上に取り組んでいることが報告されました。諸見成明西原東小校長は「誰にでもできることを、学校でも家庭でも地域でも確実に実践する“凡事徹底”が学力向上の鍵」と述べていました。



## 西原幼稚園の園児がゆし豆腐作りを体験

自ら野菜の収穫から調理まで行い、子どもたちに農業と食に対する意識を高めようと「ゆし豆腐づくり体験」が8月6日、西原幼稚園で行われ、約45名の園児が参加しました。園児らは、7月にキッズ農園（市民農園・字小波津）で自ら収穫した大豆を使って、ゆし豆腐づくりや野菜を切ったり炒めたりすることに挑戦。町食生活改善推進員や町生活研究会、JAおきなわ西原支店女性部が料理の指導にあたり、ゆし豆腐やおからイリチー、園の栽培園で獲れたスイゼンシナの和え物が調理されました。豆腐が固まっていく様子に、園児らは「魔法みたい」と歓声をあげ、作る過程にできる豆乳や湯葉も味見。金城いろはちゃんは「おいしい！（和え物で）豆腐をつぶしてまぜるのが面白かった」と笑顔で話していました。



## 海外移住者子弟研修生が来町

今年で20回目となる海外移住者子弟受入事業の研修生が7月21日、町役場を訪れました。研修生はアルゼンチンから西・ソレダ・スサナ・奈津美さん、ブラジルからセルジオ・トシオ・神谷・与那嶺さん、ペルーからは呉屋・パオロさんの3人。上岡町長は「今までの多くの研修生達が、母国に帰って活躍している。半年間しっかり研修に励んでほしい」と激励しました。研修生達は8月まで日本語の勉強、9月から12月まで各専門分野の企業等での研修を受けます。



## 道路や河川をきれいに

7月24日、地域の環境美化に関心をもち、道路・河川への愛護の心を高めようと「第28回道路・河川愛護デー」が実施されました。町産業通り会や町シルバー人材センター、町婦人連合会、町内企業の協力のもと、町職員を含む240人余が参加し、町道内間小那覇線と小波津川沿いのボランティア清掃が行われました。この清掃作業で約18トンのごみが回収され、きれいになりました。



西ノレダスサナ奈津美  
（アルゼンチン）

目的：日本語と沖縄文化の習得。看護師の現地研修。「町人会、県人会への協力が努め、後輩の指導をしたい」



セルジオトシオ神谷与那嶺  
（ブラジル）

目的：日本語と琉球国まつり太鼓の習得。「日本語を交流に活かしたい。太鼓の指導者となって、ブラジルに広めたい」



呉屋 パオロ  
（ペルー）

目的：広告デザインの実習。「学んだことを活かして、町人会の若者に伝えたい」

## 理科実験の指導法を学ぶ

町と沖縄キリスト教学院大学・短期大学の地域連携事業で、理科教育支援を勧める一環として、町内の教員を対象とした「理科教育指導者講座」が8月5日、同大学で開かれました。2回目となる今回は10名の教員が参加し、同大学の内間清晴教授が『電気の働きと磁石』について講義。数式を使わず、簡単で面白い実験をすることで子どもは興味を持ち、理科の面白さを学ぶと話し、教員らも実験を体験。坂田小学校の宮城敦子教諭は「実験を通して科学の楽しさがわかるし、子どもは実験が好き。教えるための知識を広げられ、すぐ授業に使えるような実験も学べ、大変勉強になった」と話していました。



## 西原東中なぎなた部が 全国大会で大活躍！

「JOCジュニアオリンピックカップ第17回全国中学生なぎなた大会」（大分県・7月26日開催）で、西原東中学校のなぎなた部が団体試合で3位、演技競技の部で玉那覇玲奈・米須千祥組が2位、個人試合では米城和加奈さんが3位と、すべての試合に入賞しました。8月4日、町役場を訪れた同部の米城キャプテンは「不安や緊張もいっぱいあったが、みんながいい成績を残せて良かった」と話し、米須さんは「来年は絶対優勝したい」と今後の抱負を語っていました。上岡町長は「嬉しく誇りに思う。今後も県や日本を代表する選手になってほしい」と激励しました。

